

2026 年 10 月 23 日

各位

会社名 トヨクモ株式会社
代表者名 代表取締役社長 山本 裕次
(コード番号：4058 東証グロース)

トヨクモ、7番目のkintone連携サービス 『トヨクモ AIカメラ』を提供開始

— 一人が見に行っていた確認業務をAIカメラで省力化 —

【シンプルだから、みんな使える。カンターントヨクモ】

誰でも簡単に使えるビジネス向けのクラウドサービスを提供するトヨクモ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山本 裕次、以下トヨクモ）は、カメラ画像から現場の状態変化をAIが検知し、kintoneへ自動で通知する新サービス『トヨクモ AIカメラ（以下、AIカメラ）』を、2026年10月23日より提供開始します。

AIカメラは、サイボウズ株式会社（本社：東京都中央区、社長：青野 慶久）が提供する『kintone』と連携する、トヨクモとして7番目のkintone連携サービスです。モキュラ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：中村 健一郎、以下モキュラ）と共同開発し、先行β版無料モニターの提供を経て、正式版の提供に至りました。



2026.10.23 新サービスリリース

kintone連携 現場状況検知ツール



トヨクモ
AIカメラ



工場も、倉庫も、建設現場も。
現場の変化を知らせる
AIカメラ



提供の背景

工場、倉庫、建設現場などでは、設備や置き場の状態、危険エリアへの立入り、夜間・無人時間帯の様子を、担当者が巡回して確認しています。監視カメラを設置している現場でも、映像は記録が中心で、確認するには人が映像を見る必要があります。複数拠点や遠隔地を管理する企業では、この確認業務の負担が大きく、異常の発見や対応が遅れる場合があります。

AIカメラに任せることで、人が見に行っていた確認業務の一部を省力化できます。対応カメラを監視したい箇所に設置しておく、撮影データからAIが変化を検知したときにkintoneへ通知するため、担当者が映像を見続けたり頻繁に巡回したりしなくても、確認すべき状況が発生したときに画像付きで把握できます。

AIカメラの特徴

利用の流れ

1. カメラが現場を撮影
2. AIが画像から状態や変化を検知
3. 確認が必要な状態を画像付きでkintoneへ通知
4. 関係者で共有・確認・対応



以下のような確認業務の場面で、現場の変化をkintoneに自動で通知することが可能です。例以外にも現場条件や用途に応じて、設定のご相談はお問い合わせください。

工場

危険エリアへの立入り確認

指定した設備周辺などのエリアに人がいる状態を検知し、通知します。担当者が離れた場所においても、立入りに気づき、現場の確認につなげることができます。

ライン・置き場の状態確認

決めた置き場から部品箱や容器がなくなった場合など、ライン周辺や置き場の状態変化を検知して通知します。人が見回って確認する手間を減らし、補充や確認のタイミングを把握できます。

滞留・詰まりの確認

コンベア終端など、指定した場所に物がたまった状態を検知して通知します。人が見ていなくても、滞留や詰まりの可能性に気づき、確認・対応につなげることができます。

倉庫

フォークリフト作業エリアへの立入り確認

フォークリフト作業エリアなど、指定したエリアで人を検知したら、通知します。人の立入りに気づき、現場の状況確認につなげることができます。

通路・作業スペースの状態確認

空けておきたい通路や作業スペースに荷物などがある状態を検知して通知します。巡回して確認する手間を減らし、片付けなどの対応につなげることができます。

パレット・置き場の状態確認

決めた置き場から空パレットがなくなった場合など、置き場の状態変化を検知して通知します。現場へ見に行く手間を減らし、補充や確認のタイミングを把握できます。

建設現場

夜間・無人時間帯の確認

夜間など指定した時間帯に、資材置き場などで人を検知したら通知します。無人時間帯でも、現場の変化に気づき、離れた場所から状況を確認できます。

立入禁止エリアの確認

重機作業区画など、指定した立入禁止エリアで人を検知したら通知します。常に人が見ていなくても、立入りに気づき、現場の確認につなげることができます。

作業終了後の現場確認

決まった時刻などに現場の画像を通知・記録します。現場に行かなくても、離れた場所から資材や通路の片付け状況などを確認・共有できます。

※活用例には、現在提供中の機能に加え、開発中・対応予定の内容を含みます。

kintone連携でできること

検知した画像はkintoneのアプリに1画像1レコードで記録され、対応状況や対応履歴をkintone上で管理できます。kintoneの通知機能を利用して、指定のユーザーに対して通知を送ることが可能です。検知履歴と送信画像はAIカメラの管理画面でも一覧表示でき、カメラや期間を指定して検索できます。kintoneに蓄積した記録は、あとから原因の分析や再発防止の検討に活用できます。

ご利用にあたって

ご利用に必要な機材・環境

- 『トヨクモ AIカメラ』のご契約
- 対応カメラ：ATOM Cam 2（アトムテック株式会社）
- microSDHCカード（32GB・Class 10以上）
- インターネット環境（Wi-FiまたはSIM）と電源
- kintone スタンダードコース以上
※無料お試しでは、スマートフォンのカメラおよびkintoneのお試し環境でもご利用いただけます。

カメラとmicroSDHCカードは、お客様にて販売店やECサイトからご購入ください。対応機材・推奨品については製品サイトでご案内しています。トヨクモでは機材の販売を行っていません。

データの取り扱い

- データの保存期間や取り扱いについては、製品サイトをご確認ください。

検知精度について

AIによる判定は100%の精度を保証するものではありません。本サービスは現場確認を支援するものであり、法令上必要な安全対策や警備等を代替するものではありません。

料金・提供概要

提供開始日：2026年10月23日

料金：月額7,000円（税別）～

ご契約いただくコースおよび解析トークン数（※）によって決定いたします。最短3か月から契約できます。詳細は下記料金ページをご確認ください。

30日間の無料お試しに何度でもお申込みいただけます。無料お試しでは、対応カメラを用意しなくても、スマートフォンのカメラを使ってお試しいただけます。kintone スタンダードコース以上もしくはお試し環境が必要です。

製品サイト：<https://www.kintoneapp.com/ai-camera>

料金ページ：<https://www.kintoneapp.com/ai-camera/pricing>

※解析トークンとは、AIが画像を解析するための処理単位です。フィルター数や稼働時間、チェック間隔等に応じて消費され、解析トークンの範囲内であればカメラの台数に制限はありません。

Cybozu Days Japan 2026に出展

2026年11月12日（木）・13日（金）に開催されるCybozu Days Japan 2026（ブース番号：S-14）にて、AIカメラのデモを実施します。ブース来場者の皆様にはお得な特典もご用意しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

トヨクモ株式会社 代表取締役社長 山本 裕次 コメント

当社は「情報サービスの大衆化」を目指して、サービスの開発を続けてまいりました。本サービスのリリースによって、現場の確認業務のような、これまでシステム化が難しかった領域にまでDXを広げることが可能になると確信しております。モキュラと協力し、正式版をお届けすることができました。今後も、kintoneユーザーの皆様になたな機能と価値を提供してまいります。

モキュラ株式会社 代表取締役 中村 健一郎 コメント

トヨクモとの検証や先行β版無料モニターのお客様へのヒアリングを通じ、AIカメラが現場業務のデジタル化に寄与する手ごたえを得てまいりました。私たちはAIカメラを単なる「監視」のためのツールではなく、「現場の変化を捉え、行動につなげるインターフェース」と位置づけています。検知・通知・対応・記録までを一体化し、これまで人の目に依存していた現場の確認業務を、誰でも扱える形に変えていきたいと考えています。今後も、現場で実際に使われることを重視しながら、価値あるサービスの開発と提供に取り組んでまいります。

kintoneとは

サイボウズの業務改善プラットフォームです。ITの知識がなくても自社の業務に合わせたアプリをノーコード・ローコードとAIで作成でき、素早く低コストで業務改善を実行できます。主な機能として「データベース」「コミュニケーション」「プロセス管理」があり、顧客管理、出張申請、業務日報など幅広い用途で活用できるため、現場主導の継続的な業務改善を実現します。

製品サイト：<https://kintone.cybozu.co.jp>

トヨクモkintone連携サービスについて

トヨクモは、AIカメラ以外に6つのkintone連携サービスを提供しており、契約数は15,000を突破しています。6製品でサイボウズが設定している評価基準「Cybozu Partner Network Report（CyPN Report）」にて、星を獲得しています。

社内はkintone、社外の人とのやりとりはトヨクモkintone連携サービスでお客様を「非効率な業務から解放する」ために、これからもサービスの開発・提供を続けて参ります。

- 製品サイト：<https://www.kintoneapp.com/>
- 導入事例：<https://www.kintoneapp.com/case>
- お問い合わせ：<https://www.kintoneapp.com/contact>

トヨクモ株式会社 会社概要

シンプルだから、みんな使える。 カンターン トヨクモ



クラウドを使ったテクノロジーとアイデアで、誰でも簡単に使えるクラウドサービスを提供するSaaS企業です。

簡単な操作、シンプルな機能と分かりやすいユーザーインターフェースで、IT初心者の方にとっても安心して利用できるサービスを提供し、企業における情報化の第一歩を支援しています。

【シンプルだから、みんな使える。カンターン トヨクモ】

商号：トヨクモ株式会社 (Toyokumo, Inc.)

代表：山本 裕次

設立：2010年8月

URL：<https://www.toyokumo.co.jp>

上場証券取引所：東京証券取引所 グロース市場（コード番号 4058）

事業内容：クラウドサービスの開発/提供、新サービスの開発と運用

安否確認サービス2 <https://www.anpikakunin.com/>

FormBridge <https://www.kintoneapp.com/form-bridge>

kViewer <https://www.kintoneapp.com/kviewer>

kMailer <https://www.kintoneapp.com/kmailer>

PrintCreator <https://www.kintoneapp.com/print-creator>

DataCollect <https://www.kintoneapp.com/data-collect>

kBackup <https://www.kintoneapp.com/kbackup>

トヨクモ AIカメラ <https://www.kintoneapp.com/ai-camera>

トヨクモ スケジューラー <https://www.toyokumo.app/scheduler>

NotePM <https://notepm.jp/>

▼ユーザー事例・製品情報・イベントなどトヨクモの最新情報をお届けしています。

トヨクモ公式Facebook：<https://www.facebook.com/toyokumo>

トヨクモkintone連携サービス公式Youtube：<https://www.youtube.com/@toyokumo-kintone>

トヨクモ公式X（旧Twitter）：<https://twitter.com/toyokumo>

※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。

お問い合わせは[こちら](#)

【本件に関する報道関係各位からのお問合せ先】

トヨクモ株式会社 広報担当：宮崎さわ子

電話：050-3816-6666

メールアドレス：marketing@toyokumo.co.jp